

世界各國が「新型コロナウイルスの感染拡大」に震撼する中、令和二年度の支部集会が開催されました。本年は、出席者を限定・入室前の検温・手指消毒・マスク着用・常時換気・左

世界各國が「新型コロナウイルスの感染拡大」に震撼する中、令和二年度の支部集会が開催されました。本年は、出席者を限定・入室前の検温・手指消毒・マスク着用・常時換気・左

右前後一メートル間隔で座席を設定・マイクは使用の度に消毒等々、出来る限りの感染防止対策を講じました。

議長に亀山雪峰先生を選任、出席四十名、委任状二

美しい新緑を目の当たりにしたり、時折強い陽射しを感じられる今日この頃となりました。支部相談役で前支部長の岩田潤流先生よりバトンを受け、瞬く間に二期四年の歳月が流れました。今まで無事に支部運営がなされていますのも、偏り支部会員はじめ、協賛会員やご関係の皆様のご支援とご協力の賜物と深く感謝

申上げます。

この度、昨年度支部集会にて、三期目の大役を拝命し、日々緊張の連続です。

三十年前、初めて支部役員意工夫を凝らし、新しい今に合う手法を取り込んで、創

今年一月三十一日(日)の集会の如く、乗り切つて行こうではありますか。

上に、無事開催実施完了の

先行き不透明部分もございます。が、担当をはじめとして皆様のご理解ご協力の上に、無事開催実施完了の

次世代と繋げて行ける明るい未来ある書道界となるべく、改めて『書道愛好家』である自覚と共に会員相互の協力して貢献をいただいて行なうという認識をとります。

十年一昔といいます。歳月、時は待つてくれませんが、明るい未来ある斯道で在り、継続して行くと共に、支部会員の皆様には何を於いてもご健康第一にして今後も『書とともに』を懇願申し上げます。

## 明るい未来に

支部長 川浦碧濤

## 令和二年度 支部集会

支部次長 吉田桃花

▼日時 令和三年一月三十一日(日)  
▼会場 一宮スポーツ文化センター

世界各國が「新型コロナウイルスの感染拡大」に震撼する中、令和二年度の支部集会が開催されました。

本年は、出席者を限定・

入室前の検温・手指消毒・

マスク着用・常時換気・左

右前後一メートル間隔で座席を設定・マイクは使用の度に消毒等々、出来る限りの感染防止対策を講じました。

議長に亀山雪峰先生を選任、出席四十名、委任状二

選考委員長の武山翠屋先生と選考委員四名の先生で慎重に討議して頂いた後、武山翠屋選考委員長により「次期支部長を川浦碧濤現支部長の続投で。選考委員全員一致で決まりました。」と発表がありました。会場より一層の期待を込めた拍手が沸き起こり、川浦新支

会の成立が承認されました。本年は飛沫感染防止を考慮し会計監査報告後、行事報告・会計報告・行事計画案の各資料は黙読に変更。質疑応答後、議事は満場一致で承認されました。

本年は役員改選の年です。選考委員長の武山翠屋先生と選考委員四名の先生で慎重に討議して頂いた後、武山翠屋選考委員長により「次期支部長を川浦碧濤現支部長の続投で。選考委員全員一致で決まりました。」と発表がありました。会場より一層の期待を込めた拍手が沸き起こり、川浦新支

# 一宮支部報

公益社団法人  
中部日本書道会一宮支部発行  
編集 支部編集部

部長より三期への新たな熱い思いが述べられ、閉会となりました。来賓の先生もお招きできない、交流会も開催されない寂しい年度納めとなりました。一日も早い新型ウイルス感染症の終息を願っています。



令和3・4年度

## 公益社団法人 中部日本書道会一宮支部 部別編成・役割表

※順不同 (任期2年)

部長	副部長	委員	分掌
川浦碧濤	村上史麗	監事	常任顧問(相談役)
村田光絵(支部展担当)	小島瑞月(講演会担当)	伊藤玄圃	亀山雪竹
吉田桃花(協会事務局長、集会担当)	連盟副会長小高紅葉(選抜作品展担当)	鷲野紫笙	武林岩田潤
橋本成良(学生展担当)	連盟副会長高松秀翠(教育部長兼任)	山戸武	翠屋大樹
牧仙岳(事業部長兼任、各担当補佐)			大瀬

部別	部長	副部長	委員	分掌
事業部	牧仙岳	川本青絵	井上紅葉、小川香月、川出暁香、中村彩香、藤井和竹、小山香汀、後藤柳風、川藤香月、川藤香月、川藤香月、川藤香月	支部展・集会・講習会・研修会・イベントの企画運営 部長会の資料の作成・議事進行、事業計画・事業報告書の作成 部長会・学生展・作品整理等の会場手配(連盟は経理)
教育部	高松秀翠	可児長望、関戸海越	浅野搖草、岩田佳川、岩田谷嘉恵	学生展(支部・七夕)の企画運営 備品の管理
庶務部	渡邊水香	丹羽碧洋	内藤春翠、渡辺湖風	文書の発送 その他、他部に属さない業務に関する事
経理部	山口如泉、村上桂峻	溝口純華、野田佳楊	森翠葉、山田華苑、佐藤紅蘭、脇田遊渉	予算・及び決算、収支に関する事 金銭を伴う受付業務、日常の金銭の管理
会員部	太田紫翠	酒井淑婉	春日井栄嘉	会員の管理、会員名簿の作成 各種資料の管理
編集広報部	加地孤握	山田紅照		支部(本部)報の編集、発行・各行事にかかる広報に関する事 各種資料の作成応援・名札の管理・芸文協の編集会議と冊子の配布
記録部	藤木由美子	土屋葵芳		部長会の議事録の作成 各種事業の記録(出欠含む)、及び写真
厚生部	中山芳泉	牧恵清	阿部舟花、大西影慕、山本瑠華	交流会の司会・進行等運営全般。会員の福利厚生に関する事 各種事業の飲食に関する事。弔事における弔電・供花の手配・本部への連絡

※ 各部に於いて業務執行上、必要において、他部に協力を求める事が出来る。又、協会員にも依頼する事ができる。(副部長、委員は五十音順)

# 彩色書と共に世界を廻る

支部相談役 龜山雪峰

中国・日本の書は時代によつて表現が変つてゐる。師匠の青山杉雨先生は、「作品制作は古典をベースにして今の時代に合つた表現をし、他人と違つた表現をせよ」と常に言われていた。その意を受け日展等の全国展には森春濤の詩を題材とし作風を変えて出品した。その結果か日展中日賞や国際展での内閣総理大臣賞の栄誉を受けることができた。

21世紀を前にしたとき、新時代の書として彩色書を思いつき、世に問うために東京銀座松屋百貨店の画廊で作品展を行つた。NHKテレビでの放映、海部俊樹先生のご来場を得て盛況の内に終えることができた。

これが契機で外務省の文化行事に取り上げてもらうと共に愛知万博が決定してパリの日本文化会館を皮切りに日本文化と愛知万博の紹介のため各国の文化会館等で、作品展示と揮毫の実演を行つた。時には大使や公使の公邸に招待を受けた

り観光地や美術館を訪れることができ、國々の違いに驚かされることが多々あつた。自由の女神はニューヨークではなく本家はパリで小さなものであつたり、水一杯がビールやワイン一杯と同じ値段の所が多かつた。前述のこととも常に新しいものへの思索を行つていたお蔭と思つています。画家の名のある人も時代によつて作風を変えております。

皆さんも今より明日へと新しいものへの挑戦をされることを祈念します。

追記

前述自由の女神像につき知るところがあり、一部訂正します。

自由の女神像は独立戦争後に仏・米友好のしるしとして作られたものである。

製作者は仏国コルマール生まれの彫刻家バルソルディでニューヨークマンハッタン沖のリバティ島に建設され、一八八六年に除幕式となつた。

最初の原型は作者の生家にあり更に同地公園にもつくられた。小生の知るところ米国の他、仏国に三体、日本に一体あることとなる。

# 翠屋戒語

支部相談役 武山翠屋

若くして命を断つた薄幸の門人が残したことば

・良寛 指月の喻  
一番身近なところに真理あり

良寛さまが書き残された中で、「戒語」という遺墨があります。時々に思われたことを自戒を含めて書き留められたものです。

筆硯を友として喜寿を過ぎ傘寿を目前にした今、心に響いた事のいくつかを文章にしてみました。

感謝の原点！  
・目は二つ。耳も二つ。口は一つ。なぜ？!

感謝の原点！  
・百川の王 大海！  
一番低いところで全てを受け入れる

感謝の原点！  
・百川の王 大海！  
一番低いところで全てを受け入れる

自分は未来の自分に期待している。誰でも、いくつになつても人生は歩みで一步一步進みたいと思つています。

感謝の原点！  
・百川の王 大海！  
一番低いところで全てを受け入れる

# 書と写真

支部相談役 木戸竹葉

私は趣味として写真撮影を楽しんでいます。ふつと空いた時間にカメラをぶらさげて撮影に出かけています。春の桜、新緑、秋の紅葉など、季節を感じる被写体を求めて……。最近、年を重ねたためか、でかいレンズを付けた重いカメラから軽いコンパクトなカメラに換え、モノクロ(白黒)写真のシンプルな良さに興味

図の取り方に工夫して作品作りを楽しんでいます。カラーライフ写真は自然のままで現実感があり、モノクロ写真は情報が単純化され、レトロな雰囲気を醸し出して楽しませてくれます。

私が写真を始めたのは健康のため、でもあります。康のため、でもあります。

写真は、今ではシャッターを押せば一瞬にして被写体を写し撮り、誰でもきれいな写真が撮れます。が、この世界に入つて奥の深さを経験しました。何をどう撮るか、主題は何か、余分な物が写つていなか等、構

す。今はコロナの収束が待たれますが、皆様も健康には充分ご留意いただきまして、ご活躍ください。

私は趣味として写真撮影を楽しんでいます。ふつと空いた時間にカメラをぶらさげて撮影に出かけています。春の桜、新緑、秋の紅葉など、季節を感じる被写体を求めて……。最近、年を重ねたためか、でかいレンズを付けた重いカメラから軽いコンパクトなカメラに換え、モノクロ(白黒)写真のシンプルな良さに興味

す。今はコロナの収束が待たれますが、皆様も健康には充分ご留意いただきまして、ご活躍ください。

人生百年時代、書道や写真を通じてできるだけ健康寿命を延ばし、今後の人生を楽しみたいと思つていま

す。今はコロナの収束が待たれますが、皆様も健康には充分ご留意いただきまして、ご活躍ください。

人生百年時代、書道や写真を通じてできるだけ健康寿命を延ばし、今後の人生を楽しみたいと思つていま



# 書の道・五十年

支部相談役 則 武 卩

人生を豊かに!! 生涯の趣味を持ちたいと、書道を選んだのが三十二歳の時。

▲漢字の高木曾水先生の門に入り、すぐに奈良の今井凌雪先生が主宰される「雪心会」にも入会しました。

土曜日の仕事を終え、奈良や天理の合宿会場に出向き、徹夜に近い状態で書き込みや講義を受けました。

▲展覧会は、毎年雪心会展が東京上野の森美術館で、

選抜展が奈良の文化会館で開催されました。

公募は大阪の「書芸院展」に出品、地方展は尾西市一宮市の両美術展に出品し四十歳と四十六歳の時に、市长賞を戴きました。

しかし、待望の日展には一度も入選していません。

日展審査員の中島藍川先生に、四十五歳から指導を受け「篆刻」部門で出品しましたが、知識と技量不足で

▲刻字は山口県の高橋博視先生の指導を受け、工具類や高周波の彫り機の紹介で効率よく作業できました。▲中国旅行は、昭和五十九年の中日書道会本部主催が最初で以後五回行きました。書関係の展示物、碑林の参觀は勿論の事、観光地の遊覧を楽しみました。

▲個展は六十歳から節目に四回、二人展は日展工芸入选の親友、松岡孝司氏と十回、社中展は二十五回開催

したが、知識と技量不足で自分が五十年何をしてきた

書は私の人生の巾を広くし、楽しくしてくれました。ありがとうございます!! 感謝です。

か、後々分る様にと、個人の展示品を地図に記入し、写真も添付しました。



# 第78回 一宮市美術展

▼会期 令和二年十一月十三日(金)～十五日(日)

▼会場 一宮スポーツ文化センター

審査員

安藤 静歩  
伊藤 彩秀  
今井 恭子  
大橋 光溪  
北村 煙子  
木村 永谷  
花田 西垣  
木場 桂愛  
桜城 高桑  
松葉 張羽  
翠華 隆慶  
道風 凛降

高 桑  
桂愛  
降

審査員

安藤 滴水  
伊藤 仙游  
翠華 満水  
田中 流水

高 桑  
桂愛  
降

審査員  
一四六点

審査員  
一四六点

一宮支部関係入賞者  
無鑑査

安藤 静歩  
伊藤 彩秀  
今井 恭子  
大橋 光溪  
北村 煙子  
木村 永谷  
花田 西垣  
木場 桂愛  
桜城 高桑  
松葉 张羽  
翠華 隆慶  
道風 凛降

獎励賞

高 桑  
桂愛  
降

教育委員会賞

高 桑  
桂愛  
降



ご入選  
おめでとう  
ござります

令和二年度  
改組新第七回

日展新入選

(3) 令和3年6月1日

書に親しまれる皆様は各々  
恩師故橋本翠川先生より  
若い頃からよくお聞きした  
言葉です。常に心の中で反  
復し、その深さと重さを感じ  
じつつ今まで来たものの、  
お叱りを賜ること必定です。

書に親しまれる皆様は各々  
恩師故橋本翠川先生より  
若い頃からよくお聞きした  
言葉です。常に心の中で反  
復し、その深さと重さを感じ  
じつつ今まで来たものの、  
お叱りを賜ること必定です。

支部相談役 岩田潤流  
「古典とは、いつの時代にも人々に愛され親しまれ、心の糧となつて永遠に消え去らないもの」

みならず、手本書き・賞状書き等の実践修行の場に於いても、必ず生かされると確信しています。

どの分野でも基礎基本は大切で、声楽では正確で自分なりの憧れと目標を抱き、根気よく繰り返し学び続けることが大切だと思われます。基本の筆法・美しくバランスのとれた結体・空間・リズム・流れ等、そ

の流れ、そして共鳴。基本

発声の弛まぬ鍛錬によるホ

ールの最後部席まで届く波長の形成。また、感性を磨く喜び・・・」

生きがいとは、人が情熱を持って取り組み、それを苦しみとともに味わう深い

み締めたい師の言葉をご紹

介致しましょう。

最後に、今ひとつ深くか

らぎ、声の大きさ良さではなく心地良く心に響く、繊細

で表現力豊かな「声の色」を奏でることが大切とのこと。

# 一宮市現代作家美術秀選展

▼会期 令和3年3月20日(土)～4月4日(日)  
▼会場 一宮市博物館

## 出品者

安藤蘇道	伊藤暁嶺	則武 穎	林 大樹	村上史麗
伊藤玄圃	岩田潤流	林 大樹	村上史麗	如華
加藤松翠	龜山雪峰	村田光絃	森 隆城	
川浦碧濤	木戸竹葉	山田杏華	吉田桃花	
小島瑞月	近藤芳玉	山内山抱	鷺野紫簾	
武山翠屋	田代春苑	尾関明美	渡辺月潭	
富田栄楽	中村曾南	春日井澄高		

## 支部展・学生展の予告

第66回 支部展

一、展覧会 令和3年11月27日(土)～12月18日(日)

第49回 支部学生書道展

一、展覧会 令和3年11月27日(土)～12月18日(日)

- 一、会場 一宮スポーツ文化センター
- 二、出品資格 幼児、小学生、中学生、高校生
- 三、出品料 四〇〇円
- 四、出品締切 十月二日(土)

主催 公益社団法人中部日本書道会一宮支部  
一宮市芸術文化協会

## 令和2年度 一宮支部収支決算報告

自至 令和2年4月1日  
令和3年3月31日

収入の部			
科目		決算額(円)	予算額(円)
款	項	目	
1会費収入	1会費収入		
	1理事・監事	5,000	5,000
	2評議員会費	420,000	416,000
	3正会員会費	796,000	880,000
	3準会員会費	65,000	120,000
2事業収入	1事業収入		
	1支部展収入	0	800,000
	2支部学生展収入	0	1,420,000
	3支部選抜展収入	0	0
	4支部研修会収入	0	900,000
	5支部講演会収入	0	0
	6支部祝賀会収入	0	1,020,000
3雑収入	1雑収入		
	1受取利息	0	0
	2雑収入	40,000	95,000
	2本部より振替金	100,000	
4投資活動収入	1特定資産取崩		
	1支部積立金取崩		
	前年度より繰越	263,852	130,000
収入合計		1,689,852	5,786,000

支出の部			
科目		決算額(円)	予算額(円)
款	項	目	
1管理費	1管理費		
	1支部事務所費	842,076	1,085,000
2事業費	1書道振興事業費		
	1講演会費	10,715	132,000
	2講習会費	0	0
	3研究会費	0	0
	4研修会費	0	866,000
	5選抜展費	0	0
	6学生展費	76,075	1,833,000
	7支部展費	2,740	340,000
	8色紙展費	0	0
	9書道振興事業費	300,000	380,000
	10支部祝賀会費	0	1,050,000
2本部より振替金	1愛の募金寄託金	100,000	
3投資活動支出	1特定資産取得支出		
	1支部記念事業積立金	70,000	70,000
	次年度へ繰越	288,246	30,000
支出合計		1,689,852	5,786,000

## 令和三年度 行事予定 (支部協力)

令和三年  
7月10日(土)・11日(日)

会場 一宮スポーツ文化センター2階

第48回一宮七夕まつり学生書道展  
第27回一宮七夕まつり選抜作品展

8月27日(金)・28日(土)・29日(日)  
会場 iビル3階イベント会場

市制100周年記念事業

一宮書道協会いちのみや市百周年記念展

令和二年度、支部に入会された方々をご紹介します。

## 令和二年度 新入会員紹介

令和二年度、支部に入会された方々をご紹介します。

浅野 映華  
安福 展翠  
板垣 海吾  
荒川 白扇

小笠原 美苑  
伊藤 翠晨

井浪 茉奈  
馬場 春蘭

安田 麗花  
木全 春乃

(逝去) 関戸 海越 先生  
渡辺 静扇

計 報

本号発行までに左記の方が  
ご逝去されました。

心から哀悼の意を表し、ご報  
告申し上げます。

お知らせ  
関戸 海越 先生  
ご母堂 智子様 享年87  
(逝去)

一宮総合美術展は令和三年  
以降取り止めとなりました。

支部相談役の先生方からご寄  
稿いただき感謝の気持ちで一  
杯です。

コロナ禍ですが、役員一同、  
事業推進に努めてまいります。

ご指導の程、よろしくお願ひ  
致します。

編集後記